

かけはし

発行：峡南教育事務所
地域教育支援スタッフ

第170号
2020年10・11月号

南巨摩郡富士川町鯉沢771-2
TEL:0556-22-8154
FAX:0556-22-8144

HPでも御覧になれます。
<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>



目次： ページ

地推協講演会	1
教育フォーラム内容 子育て学習会実施 異校種連携セミナー	
わかば支援ふじかわ分 校 引き渡し訓練	2
ことぶき勤学院便り	2
南部警察署 一日警察署長	3
地推協役員より メッセージ	3
身延山高校 手話コミュニケーション 部 全国大会初入選	4



今年度の地推協・峡南教育事務所共催の講演も、1月の講演を残すのみになりました。依存症最先端治療を行っている久里浜医療センター院長を講師に、身延町総合文化会館ホールで開催予定です。席もたくさん用意しております。12月中旬に詳しいご案内を出します。ぜひご参加ください。

峡南地推協・教育事務所共催 三つの講演会

峡南地域で実施した教育フォーラム、子育て学習会、1月実施予定の異校種連携セミナーについてお知らせします。

八月実施 教育フォーラム概要

このころの発達総合支援センター所長の田中先生は、コミュニティ（地域社会）が子どものころの育ちを支えていくことの大切さをお話してくださいました。コミュニティを形成しているのは私たちなので、何とかすることができるとのことです。

残念ながら、最近では地域コミュニティが役割を十分に発揮できる場が少なくなりました。学校は、その性質から子どもたちの行動を重視しがちで、「その子らしさ」に注目することが少なく、子どもは甘えることができませぬ。甘えと背伸び（挑戦）を繰り返してこそ、子どもは健全に成長していきます。子

どもが「自分で、いいものなんだ」と思えるように大人は支えていく必要があります。子どもが集まり、大人が子どもと触れあうような場所となるようなよいコミュニティを作っていくことが大切です。

田中先生よりメッセージ
今回はお招きをいただきありがとうございました。今回はオンラインという形になりましたが、そのうちきっと実際に足を運ぶ機会があるものと確信をしています。パソコン越しに感じる会場の雰囲気は、とても温かいものでしたので、その時がとても楽しみです。

講座の詳しい内容は号外のレポートをご覧ください。会場での質問の回答はホームページからご覧いただけます。

子育て学習会実施報告



十一月六日（金）午後七時より身延町総合文化会館で、峡南地域子育て学習会を実施しました。今回も人数を制限した中での開催で、十分に換気を行い、空間を確保して行いました。講師には、山梨北中学校教諭で日本アンガーマネジメント協会認定ファシリテーターでもある広瀬竜太先生を迎え「怒りに振り回されない人生」について学びました。

アイスブレイク（会場の雰囲気を取り戻すもの）

講演会の最初、広瀬先生がゲームを用意してくれました。発話しなくてもできる肩をたたき動作と拍手を取り混ぜた左右交差運動と言わ



今年度最後の講演
峡南地域 異校種連携セミナー
講演「ゲーム障害への対応」(仮題)

講師 久里浜医療センター
院長 樋口 進 氏
1月29日(金) 午後2:00~
身延町総合文化会館ホール

れるもので、脳が活性化するそうです。参加者は笑顔になり、緊張がほぐれました。

講座終了後の目標設定

広瀬先生が、「アンガーマネジメントとは何か、私たちを怒らせるものの正体、三つのコントロール」の三点を説明できることを目標として設定してくれましたので、集中する箇所が明確になりました。詳しい内容は、次回紹介いたします。

わかば支援ふじかわ分校 引き渡し訓練



わかば支援学校ふじかわ分校では、新型コロナウイルスの影響により中止した行事が多くなったと伺いました。しかし、安全防災に関することは大切で、きちんと行事を実施する必要があります。ということで、九月八日にコロナ対策下で行われた引き渡し訓練を紹介します。

を低く丸めたりして安全を確保しました。次に、ヘルメットや防災頭巾をかぶって児童生徒は先生方と手をつなぎ、正面玄関前に間隔を十分にとって整列し、再度安全を確認し、避難完了。健康確認等も行いました。先生達の配慮の行き届いた指導の下、突発的なことにも慌てず落ち着いて避難しました。

引き渡し訓練とは？
災害によって通常の下校が難しい状態であるときに、保護者が学校などに子どもたちを引き取りに来る防災訓練のひとつです。

訓練開始!!

午後一時四十分、地震が起きた想定という校内放送を機に訓練が始まりました。直ちに児童生徒は机の下にもぐったり、その場で体



↑間隔を空けて集合



←落ち着いて先生と避難



ドライブスルー方式で引き取り

午後二時、訓練下での児童生徒の安全な現状と引き取り方について保護者宛にメールを一斉送信しました。保護者は随時来校し自動車を玄関に寄せ、先生達はすぐに児童生徒を呼び出しました。ホワイ



日常生活での感染症対策

児童生徒、先生は朝夕の検温と平熱、健康状態の把握をするとともに、先生達は割烹着等のエプロン(写真)を授業用、食事に分けて着用し、アルコール消毒のミニスプレーを常に携帯して消毒しています。時には児童から「先生

☆ことぶき勸学院便り☆ 青洲高校でプラネタリウム

宇宙案内人
高橋先生

十月二日(金)、青洲高校の青洲ホールで一年生教室、星つむぎの村共同代表の高橋真理子先生による講演「宇宙と私たちのつながり」が行われました。受講生は、前に立っただけで測れる体温計を通り、広々としたホールに着席しました。

(見づらいため)
↓星空
夏の三大形



講義の概要

真っ暗な部屋に美しい音楽

が流れ、講義が始まりました。最初に、命のリレーのバトンが繋がっていることと、星空は地球上の生物を常に照らしていることに意識を向けました。その後、二日当りの夕暮れから三日の夜明けまでの星の動きを観察しました。二日は木星と土星が近く見え、火星が地球に近づく日でした。話は星座や月に及び、私たちに与っては当然の十三夜の風習が残っている県は珍しく、山梨では月を見る習慣を大切にしていることを実感しました。次に宇宙から

地球を見ると「国と国の境がない、空気の層が薄い、美しい」と感じると教わりました。幻想的なオーロラを楽しんだ後、最後に、画面で三日の朝日を迎えました。先生は「広い宇宙から地球を見たいという先生の姿勢に会場全員で解決することがある。今心打たれました。先生の美しい声、星の名はわからなくても宇宙や講義内容、活動に感動したという感想も多くありました。質問も多くなり、活発な講義となりました。

高橋先生の活動

実際に星を見られない子ども達のために病院や家を訪問してプラネタリウムを開催しています。ど



青洲高校に
感謝!
素晴らしい
施設でした



南部警察署 秋の交通安全運動

箭内夢菜さん一日警察署長



九月二十五日、南部警察署は、女優の箭内夢菜(やないゆめな)さんを一日警察署長に委嘱しました。箭内さんは身延町内で撮影が行われ、地域にも親しみのあるドラマ『ゆるキャン△』に女子高生役で出演しました。地元住民だけでなく箭内さんのファンも駆けつけ、効果的に交通安全が啓発されました。南部警察署からお聞きしたことを記事にしました。

一日警察署長の足取り

南部警察署で一日警察署長委嘱式、身延山久遠寺で出発式を行いました。その後身延高校での交通安全集會に参加しました。密を避け、代表生徒四十名くらいの参加で、最初に南部警察署長から「事故の当事者にならないように気をつけてください」という内容の話と「安全と安心のうち保険で買えるのはどちら?」(答…「安全は自分たちで考え学ぶもの」、



「安全運転は誰のため?」(答…「最優先するの自分分。強制されるのではなく自分から積極的に」という二つの質問がなされた。箭内一日署長からは「縁のある身延町で、事故や犯罪防止の役に立ってうれしいです。十月一日より自転車損害賠償保険に加入することが義務づけられていきます」という挨拶があり、生徒会長の遠藤李夢(りむさ)さんが交通事故違反ゼロ宣言をしました。集会后、箭内さんは、全校生徒に挨拶をしてから道の駅に向かいました。そこでは、交通安全協会のボランティアも参加し、一日署長として自動車安全運転を啓発しました。

↑身延高校で署長挨拶 ↑ふじくんもマスク着用

交通安全に関する行事
今年度は中止になった行事もありましたが、交通安全祈願祭では身延山で特別な修行をした人による交通事故死者の慰霊法



みんなで記念写真! △ポーズで決めました◎

要を行ったり、管内各所で南部茶と反射材を配付する街頭指導を行ったりと、南部署では交通安全のためにさまざまな活動を行っています。

峡南地区の交通の特徴

高齢率が高いこと、公共交通機関が不便なことから高齢者が自動車を運転することが多く、事故も多いです。また、主要幹線道路通過の平均二輪車台数が、平日は数十台ですが、休日になるとその十数倍になります。ツーリングに適したよい道なのですが、事故も多く見られます。ぜひご注意ください。

小規模警察署、しかし管轄面積は県内最大! 愛と感謝でいっぱい!!

署員のほとんどは単身赴任ですが、この地域と人を愛しています。温かくて、警察官に理解を示し協力してくれる住民の皆さんに感謝しています。さらに信頼されるよう、地域の安全と安心のために仕事に取り組んでいます。



早川町・身延町
・南部町を管轄
しています

地推協役員の方からメッセージ

第3回 50音順 敬称略

子ども達は地域の方から温かく見守られています。今回もメッセージを掲載します。

コロナ禍における子ども達の心は大人以上に不安に苛まれている。大人は子ども達の心に寄り添いながら困り感を共有したい。そして「がんばったね」「大丈夫だよ」等の「一秒の言葉」を、心をこめて贈りたい。この積み重ねで、信頼できる大人の存在を知り、未来に夢と希望を抱くことだろう。今こそ家庭や地域の役割を改めて問い直すときである。

(身延町 伊藤 稔)

コロナウイルス感染症の影響で、子ども達の生活習慣がガラッと変わってしまい、これから先、子ども達にどんな影響が出てくるかがとても心配ではありますが、民生児童委員としては、朝夕の登下校の見守り、及び挨拶運動の実行で子ども達をしっかり見守っていきたいと思います。

(富士川町 深澤 純)

身延山高校 手話コミュニケーション部 高校生手話パフォーマンス甲子園 初入選

身延山高校には県内唯一の手話コミュニケーション部があります。創部十八年目で、現在、部員十五名です。全国大会で活躍し、さまざまな教育機関や高齢者施設で手話教室や手話での交流を行っています。その中で、さだまさしさんやジエネレーションズ他多くの有名人との交流も経験しています。今年度四回目の出場となる「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」は、新型感染症拡大防止のためオンラインで行われ、身延山高校初となる開催地の鳥取県聴覚障害者協会賞を受賞しました。その手話劇を紹介しましょう。



は知恵を働かせて、みんな食べてしまうという話です。

『笑いは最高の薬じゃ、大好き一休さんと志村けんさん』

活動場所に案内されると、すでに衣装を身につけた部員の皆さんが整列し、大きな声で挨拶をしてくれました。

た。劇は、とんちで有名な一休さんの小話が元になっていきます。お師匠さんが、自分の飴を「毒」だと言って、小坊主達に食べさせないようにならなければいけません。一休さんの



した。台詞には手話がつけられ、また見ているだけでも楽しめるようにあらゆる視聴者を意識した工夫が感じられました。

そして、三月に亡くなった志村けんさんの「変なおじさん」ダンスやギャグを取り入れて、笑いの絶えない劇に仕上がっていました。最後は「8時だよ！全員集合！」の終わりの音楽で締めくくられてい

今回の劇の意識したこと

「感染症で世界中が暗い世の中だからこそ、笑顔を届けることです。志村けんさんを見て自分たちが元気になった経験を生かして『志村さん』を多く登場させ笑いを誘いました。衣装への恥ずかしさや練習中の体の痛みを感じても、悲しい思いをしている人にも笑ってもらうために頑張りました。」



中にはこの劇のために実際に頭を丸刈りにした生徒もあり、劇にかける意気込みと部員間の仲のよさが伝わってきました。

入部動機と活動内容

入部のきっかけは、身近な人に影響されたり、自分が人に支えられたことの恩返しだったり、将来のためだったりさまざまですが、口をそろえて出てきたのは、困っている人を助けたい、人の役に立ちたいという高校生らしいまっすぐな気持ちでした。初心者がほとんどなので、最初は指文字という五十音に当たるものから覚え、徐々に表現を増やして、わからないところは先輩に聞いたり、手話歌を身に付けていきます。手話検

待っててくれる人がいる

定を目指している生徒もいます。現在は三級と四級の取得者がいます。検定内容は手話の解読と、その場で与えられた題に関する即興での手話スピーチ、それについての聴覚障害者との質疑応答とかなり難易度の高い試験です。二級を目指して頑張っている生徒もいます。



手話教室、要望に応じて開催

身延山高校は規模が小さいですが、そのために学年の壁がなく仲の良さが自慢の学校です。小澤先生の教えが生きている手話コミュニケーション部開催の手話教室は、教わる人の立場に立って、内容や手話の手法の見せ方など工夫をしてくれるので好評です。お願いすれば講師として訪問してくれますので、ぜひ手話を通して部員のみならず、みんなの楽しいふれあいを感じてみてください。



ふれあいを感じてみてください。

顧問の小澤伸英先生は、自身も初心者でしたが手話部を立ち上げ、今日にいたります。先生が大切にしているのは「待っててくれる人がいる」ということです。これは、「自分たちの手話に期待し、心待ちにしている人がいるのだから、頑張ろう」という美しいことばです。部員達はそれに応え、耳が不自由な方とのふれあいを通じて、お互いに助け合う存在であることを認識したり、彼らのたくましさや積極性に感謝したり、また日常生活でも人の話を真剣に聞くこと、伝えようとするこ